

人材育成の本年度「耕人塾」閉塾

活動通じて成長

中・高校生に修了証

石巻地方を中心とした中・高校生の「人間力」を磨き、地域や社会に貢献する人材を育成する「耕人塾」の2021年度第10期閉塾式が18日夜、東松島市矢本西市民センターであった。

節目を迎えた本年度は石巻地方や登米市中田中などを含む新規19人、継続10人の中・高校生29人のうち28人が修了した。
木村民男塾長（元石巻専修大人間学部教授）は一人

一人に修了証を贈呈。塾生は修了証を受け取る前に「学ぶことが本当に多かった」「耕人塾での経験を今後に生かしたい」などと感

想を述べ、喜びをかみしめた。閉塾式に先立ち、最後となる第8回目の「耕人塾」も開かれ、木村塾長は一期

一人に修了証を贈呈。塾生は修了証を受け取る前に「学ぶことが本当に多かった」「耕人塾での経験を今後に生かしたい」などと感



木村塾長から修了証を受け取る塾生

一会の言葉を引用しながら「一つ一つの出会いには貴重でかけがえのないものだ。出会いを大事に自分の人生を力強く歩んでほしい」とエールを送った。

塾生は各グループに分かれ、「あいさつ・清掃・ゴミ拾い」を3本柱にした実践活動や活動全体についても振り返り、自分自身の成

長や印象に残っていることなどを発表。出席者から拍手が送られていた。

耕人塾は本年度「世界に誇れる石巻地域にしよう」発信「未来へ」をテーマに、5月22日に開塾。各分野の専門家を招いた講話や体験学習、実践活動などを通して人間力を磨いた。